

令和2年度 事業報告書

令和2(2020)年10月1日から 令和3(2021)年9月30日まで

特定非営利活動法人マドレボニータ

1 事業の成果

①教室事業

- ・オンラインによる産前・産後のセルフケア教室を継続的に開催し、また新しい生活様式に対応しながら、対面による産後ケア教室を段階的に再開した。受講者を対象にアンケート調査を実施し、コロナ禍における妊産婦の実態調査研究(③に記載)を実施した。
- ・コロナ禍で昨年度より停止していた産後ケアバトン制度(多胎児の母などの受講料補助、介助者謝礼など)を再開し、18組を受け入れた。
- ・東京都福祉保健財団の助成金により作成した両親学級オンライン版動画の視聴を受付し、東京都のカップルに対する半年後の追跡調査およびレポート作成を実施した。
- ・夫婦で参加できるオンライン講座形式の両親学級を新たに開発し、提供を開始した。

②養成事業

- ・新たなスクール形式での養成コースを開始し、産後ケアの裾野を広げるために新たな資格としてセルフケア講座を開催できる「産後セルフケア指導士」、地域で産後ケアサロンを開催できる「産後セルフケアアドバイザー」を新設した。なお講義や試験はすべてオンラインで実施した。
- ・1月からの前期スクールでは新資格「産後セルフケア指導士」1名、「産後セルフケアアドバイザー」9名が誕生。5月からの後期スクールにて「産後セルフケアインストラクター」コース4名、「ボールエクササイズ指導士コース」1名の育成に取り組んでおり、全員実技試験に合格。2021年12月にデビュー予定。

③研究開発事業

- ・日本体育大学、大阪行岡医療大学と協力し「コロナ禍における産後女性の心身の健康状態の把握とオンライン講座の効果測定」の調査研究・報告会を実施した。
- ・日本体育大学、大阪行岡医療大学と協力し、「コロナ禍における妊産婦の心身の健康状態とパートナーシップの実態」調査研究を実施中。
- ・マドレボニータ独自の調査研究「産後の身体とコロナ禍のパートナーシップについて」も同時並行で実施しており、来年度に「産後白書4」として発表予定。
- ・会員と協力し産後ケアの啓発・普及の考察レポート「マドレジャーナル」をオンラインで2号発行した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
-----	------	-----	------	--------	--------------	------------

産前・産後のボディケア&フィットネス教室事業	<ul style="list-style-type: none"> 産後ケア教室、マタニティケア教室、各種教室の実施 産後ケアバトン制度の推進 企業での復職支援プログラムの推進 オンライン講座の開発・実施 両親学級の動画視聴と追跡調査 企業向け産前講座オンライン講座の販売 	令和2年10月～令和3年9月	全国	104人	妊娠中～産後の女性及び家族、一般市民2,500人	23,923
産前・産後セルフケアインストラクター養成事業	<ul style="list-style-type: none"> 養成スクール実施 産後セルフケア指導士1名、産後セルフケアアドバイザー9名誕生 産後セルフケアインストラクター4名、産後セルフケア指導士1名の養成中 オンライン講座の販売 認定インストラクター制度整備、研修の実施 	令和2年10月～令和3年9月	各受講者の居住地	39人	一般市民、認定インストラクター、産後セルフケアアドバイザー88人	6,360
産前・産後のボディケア&フィットネスプログラム研究開発事業	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究および報告会の実施 産後白書4制作 マドレジャーナルWEB版1号、2号制作発行 産後ケアリーフレット配布 アプリ「ファミリースタート」提供 月刊メールマガジン発行 	令和2年10月～令和3年9月	全国	78人	一般市民9,677人	3,759

(2)その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額
なし	なし	—	—	—	—